

ボランティア紹介

当病院で活動されているボランティアの方々の活動状況及び作品等をご紹介します。

生け花サークル 生け花の提供

今回は、「生け花サークル・生け花の提供」の活動をご紹介します。

「生け花サークル」のボランティア活動をされている先生は、遠西栄子さんと元当院職員の方です。

遠西さんは、古流松應会水戸支部長（顧問上席）で現職の時から看護師や事務職員に生け花を教えていただいていた。ボランティア登録されたのは平成13年4月ですが、この活動を開始されて10年が経過しています。

現在、生徒さんは10名ほど、退職された方も通われています。



写真はサークル活動の様子と、遠西さんが2階がんセンターエレベーター前のコーナーに生け花を提供されている様子です。

お花は、入院中の患者さまや私たち職員にとっても“癒し”です。本当にありがとうございます。



生け花サークルで指導する遠西栄子さん

ボランティア担当:看護局 糸賀三恵子

ご意見

Q&A 意見箱より

外来の患者の受付番号が...

Q 患者の受付番号で、1桁、2桁まではよいが3桁になると混乱することがあるので、もっと良い方法を考えて欲しい。

A 貴重なご意見ありがとうございます。
当院で外来診療人数が最も多いのが「内科」であり、1日当たり数百人の患者さんが受診されますので、受付番号が3桁になる患者さんが最も多い診療科となります。以前、「呼吸器内科」や「消化器内科」というように診療科を細分化して受付番号を付番したところ、受付番号が3桁になることは少ないのですが、患者さんをお呼びする際、同じ番号の患者さんが複数存在し混乱を招いたという経緯がございます。

ご指摘のとおり、3桁の呼出しは聞き取りにくいこともあるかと思われます。今後、電光掲示板等による呼び出し表示の導入を検討していく必要があるかと存じますが、当面、現状のままで受付番号を付したいと考えておりますので、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



ご意見をお待ちしております!

何かありましたら、各階にございます意見箱をご利用ください。メールによるご意見もお待ちしております。

goiken@chubyoin.pref.ibaraki.jp



●保険証提示のお願い●

平成21年6月1日から保険証確認の方法が変更になりました。

毎月最初の受診日には、再来受付機で受付をする前に保険証確認受付に診察券・保険証・等の各種医療証をご提示下さい。

保険証類をお忘れの方や、自費・労災・自賠責・生活保護の方は窓口で診察券をご提示の上、その旨お申し出下さい。

診察後の会計待ち時間をできるだけ短くするための変更です。皆様のご協力をお願いいたします。

看護師募集 あなたの成長とキャリアアップをサポートします!

- 看護師を目指しているあなたへ
あなたのやる気を応援します。
- 在宅のあなたへ
もう一度「看護の道」にチャレンジしてみませんか?

随時
50名

*質の高い看護と魅力ある職場づくりに努力しています。
*教育、研修、安全管理体制をしっかりと整え、スタッフ全員であなたの成長を支援します。

編集後記

5月下旬に、プランター5鉢で約30球のにんにくを収穫しました。スーパーで購入した3球79円の中国産のにんにくが、国産に変身です。にんにくは、病害虫・連作障害がほとんど無く、保存性もあるのでお勧めです。9月下旬から植え付けの好期です。

編集委員 T. M



ほっとタイムズ

茨城県立中央病院
茨城県地域がんセンター

2009年8月
夏号
Vol.06



目次

- 院長メッセージP1
- 病気を知ろう:豆知識P3
- 病院紹介コーナー「透析センター開設」P2
- ボランティア紹介コーナーP4
- 「小児科外来再開」...P2
- 患者様からのご意見Q&AP4
- 院内トピックスコーナーP2

【編集・発行】茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター 〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121
ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/cyubyo/>

院長メッセージ



【第6回】 看とりの原点

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター
院長 永井 秀雄



茨城に来て2年が過ぎました。医療資源の少ないこの県で最良の医療をどう進めるか。毎日が挑戦の連続です。茨城県での診療は今回が初めてではありません。今から30年前、医師になって6年目の夏、旧波崎町の医院に勤めたことがあります。

「大学の先輩が急入院したので行ってくれ。」
東京の大学の医局長の一言で、2日後には住み込みの荷物を車に積み、利根川を渡りました。
午前中は外来、午後は往診。浜風の吹く海岸沿いを運転し、田圃のなかの家を訪ねて回りました。

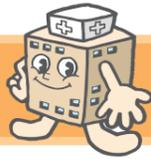
早朝、臨終の場に呼ばれたことがあります。開け放たれた八畳ほどの和室の真中に綺麗なお布団が敷かれ、お祖母様が目を閉じて静かに伏せておられました。周りには十人ほどのご家族やご親戚が正座していました。小学生の姿も数人みられました。

皆が私の一挙一動を注視していました。
すでにお身体は冷たく、夜が明けるのを待って医者を呼んだことが分かります。脈と瞳孔を拝見し、聴診器を胸に当てたあと、ご臨終をお伝えしました。
「ありがとうございます。」
声をそろえ、私に向かって一斉にお辞儀をしました。
年配の女性が水の入った洗面器を私の脇に寄せ、「どうぞお手を」と勧める。ひんやりした水が心地よいと思う間もなく、折り畳まれたタオルを手渡されました。
あの夏の朝を思い出すたび、看とりの原点が代々伝わっていく大切さを思わずにはいられません。

茨城県立中央病院・茨城県地域がんセンター

〒309-1793 茨城県笠間市鯉淵6528 ☎0296-77-1121 ホームページ <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/hoken/cyubyo/>

病院紹介



透析センター開設



●透析センター長 有阪 弘明

わが国の透析患者様は、年々増加の一途をたどっています。年間約1万人の新しい患者様が増えており、近々30万人を越えようとしています。しかしながら、ここ20年間もの間、医療の進歩にもかかわらず、年間死亡率9.5%（毎年11人に1人が死んでいくということ、日本人全体と比較すると20倍の死亡率です。）前後が継続しております。しかも透析患者様の死因の第1位は癌ではなく、ベスト3は心不全、感染症、脳血管疾患、4位に癌という状況です。つまり、一般の方と違い栄養不足や免疫低下という基盤が死因に関与しています。

近年、透析をしているということから来るいろいろな障害が問題となっております。その一つは若くして透析となった方の離職であります。週3回数時間の透析のため十分な仕事ができずリストラの憂き目にあう方が多いのです。その中には家族を支えなければならない方も多くいます。しかしながら多くの透析施設では、最近、準夜透析（17時～18時に開始、22時半頃に終了）を行わなくなってきています。民間の病院にはない医療ということで、8月の下旬より準夜透析をスタートさせます。仕事を十分にしながら透析を行いたい患者様に大いに役立ってほしいと考えています。



●小児科 稲川 直浩

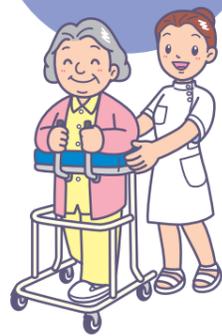
小児科外来再開

小児科常勤医が不在の間は大変ご迷惑おかけしました。この4月より、1人ではありますが小児科常勤として就任致しまして、それに伴い小児科の一般外来を再開致しております。小児科では産科退院後の新生児から15歳（中学卒業）までを主な対象とします。また、小児科は即ち「小児内科」ですので、小児の主に内科系疾患を扱いますが、お子様をどこに受診させるか迷った際はどうぞ小児科をまず受診して下さい。小児科で対応しきれない場合でも、必要に応じて各科に依頼させて頂く等の対応をさせていただきます。内科系であっても専門性が高い疾患につきましては専門病院へ紹介させていただきます。そういったコー

ディネートをさせて頂くことも我々一般小児科の役割です。乳児健診・ワクチン外来も開設しております。こちらは予約制となっておりますので電話で前もってご確認ください。また従来通り、各種専門外来（喘息・アレルギー、神経、心理）も予約制で継続して開設しております。現在のところ、時間外や入院診療の対応は再開できていませんが、今後も小児科医確保に努め、地域の皆様のご要望に応えられるよう更に充実させていきたいと考えていますので、よろしくお願いたします。

院内トピックス

けんちゅう 看護週間'09



ナイチンゲールの誕生日を記念して、5月12日を含む1週間は「看護週間」とされ、毎年世界中で様々な看護の催しが行われています。当院では5月12日～14日にローソン入口ホールで看護・健康に関するポスターの展示とイベントを行いました。イベントは専門領域の認定看護師を中心に、①足と爪の正しいお手入れの方法、②アロマオイルのハンドマッサージ、③感染予防の手洗いチェック、④尿もれのご相談と予防体操の紹介、⑤ムセを予防する食事やお口のケアの紹介などを実施し、パンフレットやサンプル、ささやかな記念品をお持ち帰りいただきました。参加者の中には、地域に配布したチラシを見てわざわざ来院されたかたもいらっしゃいました。皆様どうもありがとうございました。来年はさらに企画を充実させたいと思います。どうぞお楽しみに。

看護教育支援室 黒木



「新型インフルエンザ」

●副院長 土井 幹雄



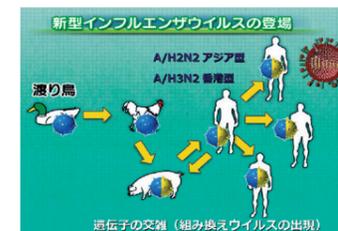
新型インフルエンザとは何ですか？

新型インフルエンザとは、新たに人から人に伝染する能力を有することとなったウイルスを病原体とするインフルエンザで、ほとんどの国民が免疫を持っていないことから、全国的かつ急速なまん延により国民の生命や健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるものをいいます。

この度、4月にメキシコや米国等で確認された新しい豚インフルエンザ(H1N1)はヒトからヒトへ感染し、現在では、世界中で100カ国、13万人を超える人々が感染し、日本でも約5千人が感染していると報告されています。報告されない例もあることを考えると実際はこの何倍もの感染者がいるとの説もあります。

豚インフルエンザがヒトに感染するのですか？

本来、インフルエンザウイルスは水鳥（カモ類）が持っている病気です。それが、長い歴史の中でヒトを含む哺乳類にも感染するようになってきました。すなわちトリのインフルエンザ、馬のインフルエンザ、豚のインフルエンザ、ヒトのインフルエンザなど、インフルエンザウイルスそれぞれの種に感染しやすいように特化してきたのです。一方、時にインフルエンザウイルスは種の壁を越えて感染することがあります。今回のインフルエンザウイルスは豚インフルエンザウイルスの遺伝子のほかに、鳥インフルエンザウイルス及びヒトインフルエンザウイルスの遺伝子も持つことが確認されています。豚インフルエンザウイルスは、通常、ヒトには感染しませんが、米国等では散発的にヒトへの感染が報告されています。



新型インフルエンザの症状は？

新型インフルエンザの症状は、突然の高熱、咳、咽頭痛、倦怠感に加えて、鼻汁・鼻閉、頭痛等であり季節性インフルエンザと類似しているといわれています。

ただし、季節性インフルエンザに比べて、下痢や嘔吐が多い可能性が指摘されています。

感染経路は？感染力は？

新型インフルエンザは、多くの人が免疫を持っていないため、通常のインフルエンザに比べると、感染が拡大しやすく、

多くの人が感染すると考えられます。新型インフルエンザの感染経路は通常の季節性インフルエンザと同様で、咳やくしゃみとともに放出されたウイルスを吸い込むことによっておこる飛沫感染と、ウイルスが付着したものをふれた後に目、鼻、口などに触れることで、粘膜・結膜などを通じて感染する接触感染が考えられています。季節性インフルエンザと同様に感染力が強いものの、多くの患者が軽症のまま回復しているとされています。一方で、糖尿病や喘息等の基礎疾患がある方等を中心に重症化する例が報告されています。また、アメリカやカナダでは、妊婦（特に妊娠後期）さんでは、重症化の可能性が指摘されています。今後ウイルスが変異する可能性もありますので、油断は禁物です。

新型インフルエンザの治療は？

抗インフルエンザ薬（タミフル、リレンザ）は発熱後48時間以内に飲むことが推奨されます。この薬はウイルスを殺す作用はなく、ウイルスが体内で増えるのを防ぐ薬です。

新型インフルエンザを予防するには？

予防するためのワクチンはまだ、存在しません。このため、ウイルス感染を予防するためには、手洗い・うがいをしっかりとすることが大切です。

手洗いは、外出後だけではなく、可能な限り、頻回に行いましょう。洗った後は清潔なタオル等で水を十分に拭き取りましょう。

また、ウイルスが粘膜を通して感染するため、極力鼻や口などを触らないようにしましょう。咳、くしゃみの際の「咳エチケット」も感染防止の上では大切です。咳やくしゃみ等の症状のある人には必ずマスクをつけてもらいましょう。また、必要のない外出（特に人が集まる場所）をひかえることが大切です。

最後に、行政や専門機関、医療機関等から出されるインフルエンザの情報に注意を払い、慌てることなく冷静に行動してください。お願いいたします。

